

観測から求めた。この関係は数値予報モデル中で、相対湿度から雲量を見積もるときに、Smagorinsky の関係式に代えて使うことが出来る。ただし雲量が少ない場合には注意が必要である。

謝 辞

この研究の機会を与えていただいた多田利義 電子計算室長と、有益な助言をいただいた加藤一靖氏に感謝いたします。

文 献

- 小平信彦, 1980: 静止気象衛星「GMS」の画像処理, リモートセンシングシリーズ/気象, 47-75, 朝倉書店.
- 前田紀彦, 高橋大知, 1984: VISSR 赤外格子点データ作成処理について, 気象衛星センター技術報告 9号, 57-60.
- Smagorinsky, J., 1960: On the dynamical prediction of large-scale condensation by numerical method, Physics of precipitation, Geophysical Monograph 5, 71-78, AMERICAN GEOPHYSICAL UNION.

第22期第18回常任理事会議事録

日 時 昭和59年6月25日(月) 09:50~13:00

場 所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 嶋村, 杉村, 内田, 松野, 竹内, 河村, 増田, 田宮

議 事

- (1) 国際学術研究交流委員会訪中代表団派遣に関する協力依頼状(案)について
岸保理事長から担当理事に代わって説明があり, 審議の結果承認された。
- (2) 定款の一部変更の手續きについて
さきの総会で承認された学会会費の値上げのための定款の一部変更について, 現理事長によって手續きをするかどうか提案され, 審議の結果承認された。
- (3) 次期執行部への申し送り事項について
会員が頭打ちの状況に伴う長期計画による対応, 財政の確立, 地方支部交付金, 国際学術研究交流費の増額, WMO シンポジウムへの財政的な後援などのことが話し合われ, 日本学術会議会員の選出に伴

う諸手續きの処理, 会費値上げの実行, 国際学術研究交流委員会経費の募金の実施の点がさし迫っている問題であることが了承された。

(4) その他

- ア. 財団法人日本学会事務センター事業部から案内があったフランクフルト・ブックフェア(ドイツ)での「学会誌」展示会に, 「気象集誌」を昨年同様出品することとした。
- イ. 九州支部長から申し入れのあった昭和59年度秋季大会と福岡管区気象研究会との共催については承認された。
- ウ. 「天気」編集委員に気象衛星センター 一木明紀会員の代わりに国立極地研究所 山内 恭会員が承認された。

承認事項

個人会員出口 悟ほか15名, 団体会員(成蹊高校地学研究室), 外国個人会員3名, 外国団体会員1の新規加入がそれぞれ承認された。